

ビジネス街のランチタイムに、関学大学院の教員と共に学ぶ

無料



# ビジネスランチアワー

関西学院大学大阪梅田キャンパスは、大阪で勤務されている多くの社会人に対して、現実のビジネスにある背景、理論、科学的方法を学習し、より適切にビジネスの現実に対処していく方法を学ぶきっかけとなる場を提供したいと考えます。夜遅くまで仕事をされている社会人に、まずは昼食時にビジネスに関するヒントやアイデアをつかんでいただくきっかけを提供します。

● 6月の話題提供 ●

## 「会計数値による“見える化”経営」



講師： 浜田 和樹 関西学院大学アカウンティングスクール 教授

関西学院大学商学部、商学研究科修士課程修了後、筑波大学社会科学部研究科博士課程単位取得退学。西南学院大学商学部教授、商学部長を経て、現職。ダートマス大学ビジネススクール客員研究員（1990年～1991年）。現在、日本管理会計学会理事（2001年～2007年常務理事）、日本組織会計学会会長。2000年日本管理会計学会文献賞受賞（『管理会計技法の展開』、中央経済社、1998年）。最近の研究テーマは「グループ経営と管理会計」、「企業間管理と管理会計」。最近の著書は、（共著『管理会計レクチャー』（基礎編）（上級編）、税務経理協会、2008年）

「見える化」ということが、経営のキーワードの一つとして注目されています。その本来の意味は、問題解決のために問題を見えるようにすることです。見える化とは、もともとは生産現場での改善のために考えられたものですが、経営戦略、顧客管理等の様々な分野で利用されています。会計数値も、計画、統制の状況を見える化することに役立ってきました。最近、経営において、無形の資産（インタンジブルズ）やレピュテーション資産等の「見えない資産の見える化」の重要性も指摘されています。このような会計数値の役割と限界、最近の動向について、管理の立場からお話したいと思います。

■ 日 時： 2010年 6月25日（金曜日） 12:10～（受付開始 11:45～）

12:10～12:40 昼食をとりながら、講師から話題の提供

12:40～13:00 参加者とビジネスの懇談

13:00～13:30 時間が可能な方と引き続き懇談

■ 場 所： 関西学院大学大阪梅田キャンパス 14階 1406教室  
（〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19 アプロースタワー14F）

■ 定 員： 30名（先着順） ※座席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

■ 費 用： 無料 ※昼食は当日会場で取っていただいて結構です（昼食は各自ご用意ください）。

■ お申込方法： 下記項目を記入し、電子メールにてお申込ください。定員になり次第締め切ります。

### 【記入項目】

件名「6月25日 ビジネスランチアワー申込」

① 氏名（ふりがな）※卒業生の方は、卒業年度・学部

② 〒・ご住所 ③ TEL ④ E-mail アドレス

⑤ 勤務先名 ⑥ テーマに関する講師への質問

■ お申込宛先： E-mail: [kghub@kwansei.ac.jp](mailto:kghub@kwansei.ac.jp)

（お問合せ 関西学院大学大阪梅田キャンパス TEL:06-6485-5611）

【主催】 関西学院大学大阪梅田キャンパス

【個人情報の取扱いについて】お申込にあたり、お知らせいただいた個人情報は、来場者の分析や今後関西学院大学大阪梅田キャンパスからのお知らせをお送りする際にのみ利用いたします。

